

2月15日1980・No.24

京橋の印刷

発行所
 東京都印刷工業組合
 京橋支部
 〒104 東京都中央区新富1-16-8
 日本印刷会館3F 電話 552-1855
 印刷所 八千代印刷株式会社

内装も進行し開通を待つばかりの明るい地下鉄新富町駅



有楽町線・新富町駅 五一年三月着工以来、建設工事が進められてきた地下鉄有楽町線銀座一丁目〜新富町間〇、六kmが、シールド工法によって完成した。現在は駅構内の化粧仕上げが行われており、開通は三月二六日頃が予定されている。この新富町駅の全長は築地橋を中心に中央区役所前の三吉橋から市場通りの築地電話局前入船橋まで二一〇メートル、地上から線路面までの深さ二四メートルで、駅構造は地下二階で一階が出札及び



地下二階にあるプラットフォームを視察する中央区議団

駅事務室で、二階がブラットホームになっている。構内は明るいピンク色の内装で落付いた感じで広びろとしている。地上との出入口は中央区役所前及びその向側、京橋税務署前、入船交番前の四カ所。日比谷線築地駅との連絡通路も二年後には完成する。池袋から市ヶ谷、永田町方面からの所要時間がゲンと短縮され便利になった。更に隅田川の底をくぐって待望の月島、佃方面へ延伸する工事も続けられている。今回の探訪には一般公開がされていないので、大塚中央区議会議員と新富町会長のはなか商店社長のご協力とご厚意によるものである。

目次

巻頭一言 小宮山支部長……………	1
京橋支部新年臨時総会特集……………	2
水野コレクション・シリーズ(7)印刷文化の流れに沿って……………	10
京橋支部印刷人青年会第四回行事(新年会)……………	12
△提言▽印刷営業士について・役に立つ情報が欲しい……………	13
地区だより・湊地区、告知板……………	14
―随筆― 正月歳時記・北国餅料理……………	15
支部の動き・編集後記……………	16

巻頭一言

天声人語の記事を借用する。

氷が溶けたら何になりますかという問いに、たいての子は「水になります」と答えた。正解である。ところがひとりだけ「春になる」と答えた子がいた。みんなが同じ方向に考えを向けていた時、その子だけは別の方向へ頭を働かせていたのだ。この記事はこのあと入試制度と学校教育の画一化に論評を引導している。

八〇年代を迎えその年頭のことばは、どれをとっても不透明にして前途多難な時代と警鐘を打ち続けている。認識の点においては何等の異論をささむ余地はないが、企業経営者にとってその認識と共に窮状打開の行動―即ち禍転じて福となす思いきった発想の転換こそ、そのきめ手になるのではなからうか。

昭和55年 京橋支部 新臨時総会

梅香る熱海・於・静観荘 1月26日・27日(一泊)

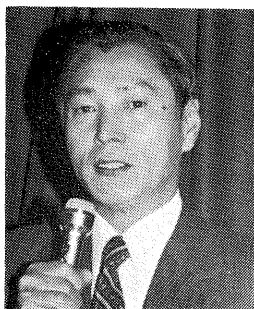


東京都印刷工業組合京橋支部臨時総会

恒例の東京都印刷工業組合京橋支部の昭和五五年新年臨時総会が今年も一月二六日午後四時から熱海市の静観荘で開かれ、次期役員改選選考委員会の設置と、同選考委員に中村謹吾顧問(日本精版印刷)、斉藤喜徳顧問(斉藤正文堂)、石澤幸相談役(石澤印刷)、久保田幸一郎相談役(東京真宏印刷)、小葉忠昭入

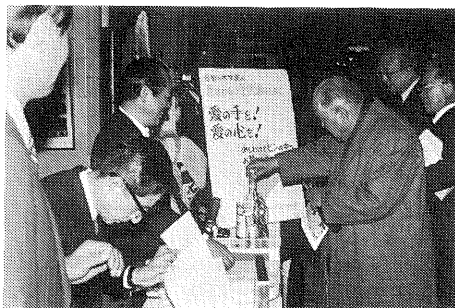
船地区長(小葉印刷)、小宮山敬之支部長(小宮山印刷)、小山英美副支部長(高千穂印刷)の七人を承認し決定した。また今秋(一〇月)に中央区と中央区工団連の主催で初めての「中央区工業展」が開催されることになっており、その準備が着々と進められていることが、小宮山敬之支部長と白橋龍夫中央区工団連会長から説明があり、当京橋支部はこの中央区工業展に全面的な協力を行っていくこととなった。

新年臨時総会は、定刻の午後四時から石曾根副支部長の司会で始まり、小山副支部長が「何をおいてもまず新年のお慶びを申し上げます。激動の時代でありました一九七〇年代が終り、発想の転換と価値観の転換が求められるであろうといわれます八〇年代を迎えました。私達も皆んなで真剣に知恵を出しあって、より一層の協調と結束が叫ばれております、この八〇年代の初年度の新年総会に当りましてお忙しい中にもかかわらず多数ご参会をいただき厚くお礼申し上げます。とくに東印工組の松本副理事長さんはじめご来賓の方々のご臨席を賜わり厚くお礼申し上げます。只今から昭和五五年の新年臨時総会を開きますが最後までご協力いただきますようお願いいたします」と開会のことばを述べたのち、小宮支部長が年頭のあいさつを行なった。



開会のことばを小山副支部長

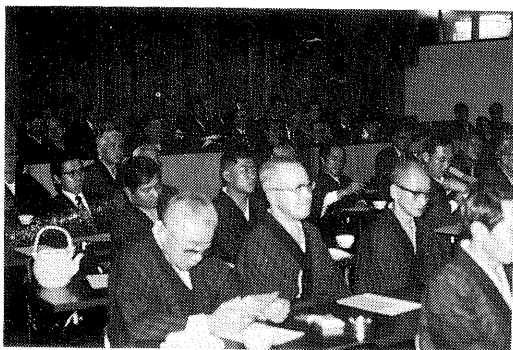
小宮山支部長は「本日は昭和五五年の新年臨時総会を昨年に引き続きまして熱海・静観荘で開催致しましたところ遠路のところ、また一月は何かとお忙しい中にもかかわらず多数の組合員皆様のご臨



忙しい受付係、愛の募金も続々と……。

「愛の募金」ねむの木学園へ

支部新年臨時総会は既にお馴染の「恵まれない子らに愛の手を」のポスターとジャンボウイスキーの空罎が二本、静観荘ロビーの支部総会受付のテーブルにすえられるようになって四回目、この募金の提案者白橋支部顧問をはじめ、多数の組合員皆様の心からの浄財を頂戴した金額は四万四一〇円でありました。早速に女優宮城まり子さんの主宰される静岡県小笠原郡浜岡町の「ねむの木学園」に郵送で不幸な恵まれない子達の育成に少しでもお役に立てばとお贈りました。組合員皆様のご賛同で、今後もこの募金活動を続けたいと考えています。



総会資料に目を通す組員

席をいただきまして厚くお礼申し上げます。

今日は臨時総会でございますので、支部事業の報告等については省略をさせていただきます。またお手元にお配りいたしました京橋支部報ともいっぺき「京橋の印刷」に若干ながら、ぼう頭に「新春を迎えて」ということであいさつを申し上げておりますので、昨年の「轍」を踏まないためにも私は三分ぐらいであいさつを終える予定であります。折角の機会ですから、お礼を申し上げたいと思います。

世の中では、八〇年代を迎えたということで大変多難な年であると申されていくことは皆さんご承知のとおりであります。七〇年代が激動の時代であった。七



あいさつの小宮山支部長

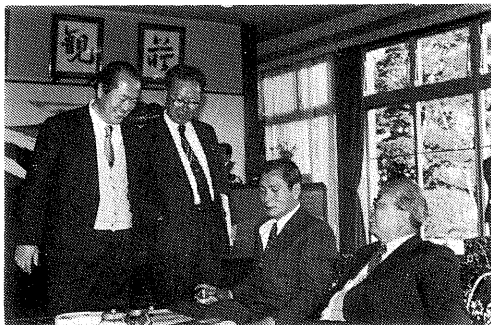
〇年代までが日本経済が繁栄していたということにつきましては、もう余り異論のないところでありますが、私どもやはり昭和四八年、即ち一九七三年の第一次石油ショックによりまして大切な貴重な経験をしたことがございます。また昨年は第二次の石油ショックともいっぺき大変な事態が発生しまして資源の問題が再び浮びあがってきました。その影響を受けましてご承知のとおり、印刷の諸資材が暴騰しているというは事実であります。私どもは諸資材の値上りを困ったことだと感じていることはもちろんですが、それぞれの企業内の企業努力による合理化だけではどうしてもこれらの諸資材の値上りを吸収できないものについては、やはりお互いに協調と連携を高め、過当競争を防止していき、印刷料金の適正化をはかっていかねばなりません。

さらに八〇年代の展望として私どもが考えてますことは、何といたっても産業界の景気回復を見直していくことにもとずいて、業界の地位向上と、諸資材の高騰に対処できる日が自から開かれてくるの

— 忙 中 閑 有 —

午前一〇時半東京駅八重洲口は多くの人々が利用する待ち合せ場所、銀鈴の下に小宮山支部長以下一八名が集合新幹線で熱海到着、旅館の出迎えるマイクロボスで一二時には総会々場静観荘に総会資料輸送のため車で先発の者と合流、早速、現地部長・地区長会を開催、総会準備の打ち合せ、それぞれの任務分担の確認、部屋割の点検、新年会の来賓、協賛関連業の方々への席の決定、各地区組員の席の抽籤など目まぐるしい一時であった。

ではなからうかと思える次第です。とくに私は印刷業というものは、本来は大企業の体質のものではなくて中小企業分野のものであると、自信をもって永年にわたって信じ込んでおりますが、たまたま高度成長期がありまして何といたっても大量消費、そして大量生産というシステムが印刷業界にも定着したということで、大企業にややもすれば私どもが遅れるということがあった。しかし昨年来の状況は、今本部におきまして第二次構造改善計画が策定されていますが、これらにつきましてもやはり第一次構造改善の後を受けての日本経済の変革、変貌に対処し安定成長へ移っていかねばならないという方針のもとに現在進められてきている

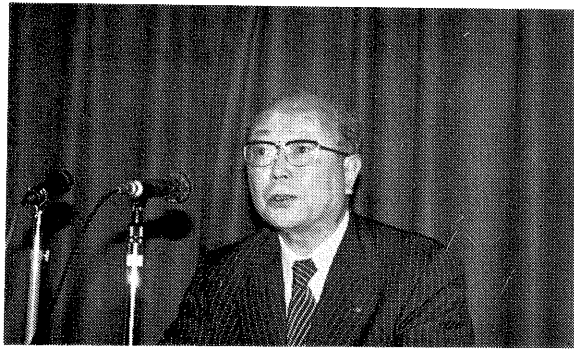


部長・地区長会をおえて頼いのとき

三菱製紙特約店

株式会社 三和洋紙店

本社 東京都中央区入船3丁目4番1号
電話 東京 (552) 2731番 (代表)



総会議長を務める小宮山支部長

わけでありませう。

このような状況下にありまして私どもはこの二カ年近くにわたって組合員皆さま方から絶大なご理解とご協力を得まして、今日まで大過なくすごしてきましたが、今年の三月末をもって私も執行部もお蔭げさまで次期の執行部にバトンタッチする時期がきたのであります。次期の執行部の方々は、八〇年代の展望と同時に、組合事業としまして第二次構造改善計画と取組むという大変な事業をかかえていられるわけでありまして、この辺につきましては当執行部だけでなく、やはり組合員の皆さん方のご理解と協力をお借りしなくては到底達成することは

たくまじきかな!!京橋支部

大日本インキ化学工業㈱

第一営業部長

土屋 隆 夫

ソ連のアフガン侵攻、金銀の急騰、そして原油価格の三〇ドル時代への突入と騒然たる八〇年代の幕開けであります。

更には卸売物価の二〇%上昇(前年比)、用紙関係の価格変動と全く予断を許さぬ厳しい現実の中で五五年度京橋支部の新年会が開催されました。一抹の不安をいだきながら出席させてい

ただいたのですが、小宮山名支部長様を中心に、一条乱れぬ規律のもと、活気に満ち溢れた明るく和やかな、冒頭の市況を忘れるような雰囲気で大いに意を強くした次第でございます。

しかしながら、御出席の皆様は、しかるべく現実には認識されており、あえてそれをのり超えて行く緻密な計画性と各々の企業を護り、拡大育成するたくまじさを痛感し、敬服致しました。

業界一の実力とチームワークを誇る京橋支部各位の益々のご発展を心からお祈り申し上げます、新年会感想とさせていただきます。

できない課題であります。今後もどうかよろしくご協力とご理解をお願い致す次第です。大変長くなりましたが最後に当りまして組合員皆さまのご健勝と事業のますますの発展を祈念しまして、ごあいさつと致したいと思います」と述べ、支部運営に対する組合員の協力に感謝の意を表するとともに今年もより一層の協調と連携の必要性を強く訴えた。

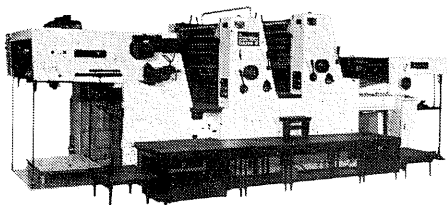
次いで支部規約二三条にもとづいて小宮山支部長が議長に就任し、総会次第に従って議事に入った。上提議案は、第一号議案「次期役員改選選考委員選任の件第二号議案」その他について。

第一号議案の次期役員改選選考委員選任の件については、小宮山議長から「こ

の三月末をもって当執行部の任期が終了致しますので、四月の通常総会では次期執行部を選出せねばなりません。従って次期役員を選考に取り組みたいと思えます。先日来支部の地区長会におきまして、京橋支部規約一二条にもとづいて次期役員を選考委員の選任を行なっています。その選考委員をこれから申し上げます」と述べ、次期選考委員として、顧問から日本精版印刷㈱の中村謹吾殿と斉藤正文堂の斉藤喜徳殿、相談役から石澤印刷㈱の石澤 幸殿と東京真宏印刷㈱の久保田幸一郎殿、地区長から小薬印刷㈱の小薬忠昭殿、それに執行部から支部長の

小宮山敬之氏と副支部長の高千穂印刷㈱の小山英美氏の以上七人を発表、さらに

決定! オフ下請なら宏洋社



菊全2色三菱NEW DAIYA II-2N 稼動開始
中央区湊2-7-2 (有)宏洋社 ☎551-9992

生活には
くらし
はずみを

無担保・無保証人
文信フリーローン

上手な住居づくりに
文信マイホームローン

文化産業信用組合 | 京橋支店
東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625(代) 104



印刷功労者受彰を祝って記念品の贈呈

「二月に入ったらさっそく委員会を開いて選挙に入り皆さんの期待に応えるよう活動していきたい」と語り、満場一致で承認可決した。

第二号議案のその他については、小宮山議長から来る一〇月に開催される中央区工業展に關し、「今年の秋に中央区、中央区工団連主催によって中央区工業展が開催されることとなった。この工業展は地場産業の認識と育成、とくに地域住民の印刷関連産業に対する理解を深めるということからもぜひ印刷業界としては応分の協力を申し上げたいということ、過去一年近くにわたって私ども工団連の役員が協議を重ねてきたが、それが今年の一〇月にいよいよ開催されることが決まった。従って次期執行部の予算編

成の中におきまして支部としても適当な協賛財源を考えねばならない。これにつきましては皆さん方にどのような方法でもって、どのような金額を出すか今後検討を進めて行きたいと思えます。この事業は五四年度収支事業とは別枠となつて

いますので、皆さん方に報告するのと同時に、これに対し皆さん方のご賛同を得られれば大変有難いと思つていきます」と、開催を決定するに至るまでの経過と、今後の協力を要望し、出席者全員の賛同を得た。

以上で議事を終了。引続いて昨年の北海道印刷文化典で全印工連の組合功労者を受彰の石澤 幸支部相談役に小宮山支部長から記念品の贈呈が行なわれた。これに対し、石澤 幸氏は「全印工連組合功労者の表彰に対し支部から記念品をいただき厚くお礼申し上げます。ふり返ってみますと功績など何一つなくただ過ぎてしまったというのが私の実感であります。これも先輩の方々のご指導と皆さんのご支援のお蔭であり心から深く感謝申し上げます。本日の心あたたかい心づ



謝辞を述べる石澤相談役

かいに對しまして私、心新たに致しまして業界発展のために一層努力していく決心であります。どうか皆さんのご指導、ご鞭撻をお願いします」と、お礼の言葉を述べた。

来賓の祝辞に入り、まず松本一磨東印工組副理事長が「京橋支部の皆さん明けましておめでとうございます。旧年中はいろいろ問題が山積みして困難なことがありましたが、何かと協力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。今年は一七〇年代から八〇年代へという一つのくぎりの年がきましたが、ふり返って見ますと、七〇年代はいろいろなことがありました。第一次構造改善計画もそうでありましたが、とくに昨年後半に至りましてイランの政情不安に起因しま

すところの産油国の一大攻勢にあいまして第二次のオイル危機が到来しました。そしてあらゆるものが値上りし、それが私どもが使用していますところの資材へはね返ってきました。私どもは厳しい競争環境と低迷する市況の中で、これら値段の上った資材価格をどう製品に転換し



松本副理事長

かいて対しまして私、心新たに致しまして業界発展のために一層努力していく決心であります。どうか皆さんのご指導、ご鞭撻をお願いします」と、お礼の言葉を述べた。

来賓の祝辞に入り、まず松本一磨東印工組副理事長が「京橋支部の皆さん明けましておめでとうございます。旧年中はいろいろ問題が山積みして困難なことがありましたが、何かと協力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。今年は一七〇年代から八〇年代へという一つのくぎりの年がきましたが、ふり返って見ますと、七〇年代はいろいろなことがありました。第一次構造改善計画もそうでありましたが、とくに昨年後半に至りましてイランの政情不安に起因しま

プロセスインキの最高峰

New Champion
Super Apex

 **大日本インキ化学**

山 桜 製 品

 **株式会社 山 桜**

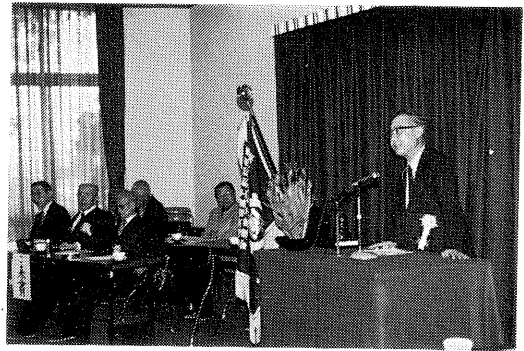
本社 東京都中央区築地3-2-9
電 話 542-8511 (大代)

工場 東京都昭島市大神町1046番地

支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有
墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪

ていくが重要な課題であります。これらの一般材料の高騰に加えて増税、金利、退職金、さらには郵便料金、電気・ガスなど公共料金の値上げが目白押しに並んでいます。業界に目を向けますと、雇用問題、技術革新の問題、需要の変化、次々と変わっていくであろう競争環境の変化など、これらの問題に厳しい気持で対応していかねばならない。こう見えますと、この五年度は大企業といわず中小企業といわず企業経営が大変難しい年になると受けとめております。しかしながら業界全体からいえば、情報産業という大きな枠の中で、その一つの業績として八〇年代は安定した成長が見込まれるという見方がされておられ、全印工連としても大体同じ見方をしております。だが安定した成長が見込まれる業界でも実際に企業が成長しグループに入っていければ意味がありません。それにはいま申し上げました難しい問題をひとつひとつ克服し、そしてこれを自分のもの、自分のエキスとして企業を中心とすることではじめて安定した成長グループに入れると思っております。

全印工連では、昨年近促法にありますところの構造改善が租税特別措置法含みで改正が行なわれ、新たな構造改善事業ができるようになったため、第二次構造改善計画を策定しました。そして今皆さんのところの計画を集めていることはご承知のとおりであります。私も第一次構造改善事業のご批判は十分承知しておりますし、また意見の分れることもこれまで十分承知してあります。従って今回の第二次構造改善計画については、できる限り小企業の方々のために参加しやすいように考えたつもりであります。いろいろなメニューをとり揃えて皆さんにぜひかけていますので、どうかご協力をお願い致します。



来賓あいさつのトップは松本副理事長

軽印刷業と一般印刷業とを較べた場合に加工高が一般印刷業より経印刷業界が高いというところで、これには私は愕然としました。即ち軽印刷業の方がもうけているということですが、これはいいかえますと、もうすでに軽印刷業者が知識集約化というものを身につけているということですが、もう少しわかりやすくいえば、皆さんのお手元にさし上げております第二次構造改善計画のパンフレットの中に書いてあります企画・デザイン・アイデアの半製品の開発、受注センターの開設、店舗改善などが盛込まれていますが、軽印刷業者はすでにこれらにあるていど身につけて年末に一大攻勢をかけていたということです。年賀状は今年二七億五千万枚が売り出され、うち三五兆が印刷されるといわれます。このようなぼう大な枚数が発売されていますから、実際には一社や二社でやったとしても今年あたりは何も感じないと思いが、ここで注目せねばならないことは、こうした軽印刷業界がすでに第二次構造改善計画を実施する決定をしていることです。そして今後五年間にわたってさらにこうした新しい形式を身に付けていったらどうか。加えて一般印刷業者が第二次構造改善計画を批判だけして足が進まないようなことを五年間続けていったとしたらどうかを考えたときに、私も構造改善計画を進めている者にとつてきわめて強い危機感を感じるのであります。お蔭げさまで参加意向調査表は参加しない方も若干いらっしゃいます。このような事情でありますので、八〇年代の前半五カ年が印刷業界の輝かしい年となるよう皆さんのお力をぜひともお借りしたいと思っております。よろしくお願ひします」と結ばれた。

四六四截オフセット
オリバー 8
 軽快・高速・重装備
 580×440. 10,000枚/時
 姉妹機：オリバー6 菊四截
 オリバー12 菊半截
桜井機械販売株式会社
 〒135 東京都江東区福住2-2-9
 電話 (03) 643-1131

写植のことなら何でも...

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成<写植スクール>
- 版下マンの養成<フィニッシュワークスクール>

株式会社 **モリサワ**
 東京支店 東京都新宿区下宮比町15-5 〒162 ☎03-267-1231

次いで白橋龍夫中央区工団連会長が「一月もあと五日で終りでございますが、年の初めであり、まずはおめでとうございます」と前置し、「先ほど小宮山支部長さんから工団連の主催『中央区工業展』のお願いがありました。ほんとうに有難うございます。工団連主催の工業展につきましては、難しい課題もありましてどのような工業展にしたらメリットがあるかということになりますと、中央区の小学校、中学校の卒業者、高等学校の卒業者が工業展を見、また工場見学をしてみたいと思っております。これは将来において中央区の卒業者は中央区にある産業を理解してもらいたいという考えにもとづくものです。このほか開催に当たっての意見もでていますが、工業展



中央区工業展開催を訴える白橋工団連会長



来賓席の方々もメモを

のあり方、持っている方を皆さんと万全な協議を重ねていきたいと思っております」と、中央区工業展の開催意図を説明開催に対する協力を懇請した。

続いて伊坂一夫東印工組顧問は「今年も昨年引続いて気分の良い熱海のこの静観荘でお目にかかることができ同慶にたえない。昭和五五年は先ほど支部長さんいわれたように非常に見通しの難しい年であります。七〇年代とくに昨年あたりは皆さんのところも大変に一所懸



厳しい経済情勢を見透す…。伊坂顧問

命やっただけではありませんが、どうも売上げは思ったほど伸びなかったというのが実情ではなからうかと思えます。私どもも昨年の暮当りから八〇年代はどうなるだろうという見通しについてはいろいろと考えましたが、どうも余り良い考えが浮んでこなかった。ところが年が明けて一月の一七日、富士グリーンサークルの会合がありました。ご出席された方もあると思いますが、この富士グリーンサークルは富士写真フィルムの主催する集りです。富士写真フィルムは昨年大変よい営業成績をあげた会社ですが、その富士写真フィルムが今年も申年にちなんで、「即ちよく見よう、よく聴こう、ともに語ろう」という新三猿主義を称えておいに成績を伸ばしていくということですね。私もでも儲け頭であるこの富士写真フィルムの新三猿方針を今年さっそく取り入れてやって行こうと思っています

**業界のトップメーカーで、
全国で一番よく使われている！**

ハート印 { 名刺用紙・私製はがき・招待状カード・封筒 } 発売元
株券用紙・賞状用紙・荷札・のし紙・カレンダー

ハート株式会社

東京東支店

135 東京都江東区冬木15番10号 電話 東京 (03) 641-1153 代表

本社 540 大阪市東区南農人町2丁目39番地 電話 大阪 (06) 942-2321 番(大代表)
支店 札幌・仙台・東京西・東京南・東京北・静岡・名古屋・金沢・京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡

話は変わりますが、先日中央会館で斉藤栄三郎先生の講演があり、これを拝聴致し、いろいろと今後の指針となった。皆さんの経営のご参考の一助にでもなれば幸いということで要旨をB5の印刷物にして本日皆さんのお手元にお配り致しておきましたのでご参考になれば大変ありがたい。難しく厳しいこれからの八〇年代であります。組合を通じ、互いに手を携えて難局を乗り越えることを祈念します。ご健勝を心からお祈り致します。

さらに牧野佐武明東京製本工業組合京



製本工組牧野京橋支部長の
ごあいさつ。

橋支部長は「本日は伝統ある東印工組京橋支部の新年臨時総会にお招きをいただきまして有難うございます。臨時総会での議事もスムーズに満場一致で可決されども見習いたいと思っております。平素は私も組合の組合員が皆さん方から仕事をいただいております。先ほど来のお礼申し上げます。先ほど来の先輩の方々のお話を伺っても、また新聞、ラジオ、テレビなどでも七〇年代は激動の時代であったが、八〇年代は激変の年になるだろうといわれ、私も製本業者

としましては身震いする感情に迫込まれているところであります。しかしある先生にききますと、こういうようなときこそ小回りのきく中小企業のチャンスであるという事です。私は昨年この新年臨時総会に出席させていただきましたが、その席上で確か小宮山支部長さんから米国は今やわが国の経営法を見習いつつあるという主旨のお話を伺った。その要旨は米国の半導体メーカーがわが国の経営を見習うものの第一番は愛社精神を旺盛にする。二番目は長時間労働を採用する。三番目に年功型を採用することをきめ、これに合わない人はやめてもらうといったことを伺いました。この小宮山支部長さんのお話の続きではないが、私どものお得意先で昨年度史上最高の加工高を上げられた会社がありました。そこで私はその会社の社長に会って、何か特別な理由なり経営特色があったからこうした高成績が得られたのですかと伺ったところ、その社長さんがいわれるには、別にこれといった要因はないが、あえてあげるとすれば営業、現場の社員とも、厳しい環境を自覚し火の玉となって働いてくれたからだということであった。言葉では社員が、火の玉となって働いたというは易しいが、社員を一丸とならせた、その社長さんの経営手腕は見事であったと深く敬服した。今年からの八〇年代どうも環境は余りかんばしくないが、印刷業界におおいに羽たいてもらいたい。印刷

業界の繁栄がなくては私ども製本業界の発展をのぞむことはできない。新年に当りお願い致しまして祝辞にかえさせていただきます」とあいさつを述べた。

このあと井上計氏の「新年おめでとうございませう今年も皆さま方の一層のご発



総会の閉会を宣言する
長島副支部長

展を祈ります」の祝電披露が司会者からあり、長島副支部長の「本日はご出席の皆さんのご協力により無事臨時総会の議事を終らせていただきましたことを厚くお礼申し上げます。またご来賓の各位におかれましてはお忙しい中にもかかわらずご出席賜わり、いろいろと有益なお話をきかせていただき大変有難うございました。なかなか難しい問題もありませんが、今後とも企業の連携強化を通じて各企業がますます発展していくことが第一だと考えています。今日は初春の熱海でございませう。一夕皆さん方ぜひゆっくりとおすごしいただきまして、この場を情報交換に役立つものにしていただきたいとお願います。今後の企業の発展を祈念し閉会の言葉とします」旨の閉会の言葉で同臨時総会を午後五時終了した。

オフセットはハイデル

A3判単色、多色、多色両面機から、
菊全判多色、多色両面機まで豊富な機種。



グラフィックアーツの総合商社
印刷機械貿易株式会社

本社 大阪府寝屋川市豊里町1番4号 TEL 0720(32)0441 千572
東京事業部 東京都品川区南大井3-21-4 TEL (763) 4141 千140

ここに鮮やかな一枚
ノーカーボン紙
レジンCCP

十條製紙

千100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)
TEL 東京(03)211-7311



来賓、関連業者、組合員が勢揃いして記念撮影

新年宴会は新年臨時総会終了後の午後六時から関連業者も混えて総勢一五〇人という、これまでの最高の出席を得て、記念撮影ののち、くつろいだ中で盛大に開催された。小倉武治、浅野秀夫両監査の司会で開宴。小宮山支部長が新年臨時総会が無事終了し、関連業者の方々を混えて懇親宴会を開催できるお礼と、とくに関連業者の平素の協力に対する謝辞を述べ、今年も組合員、関連業界ともども発



乾杯の音頭を久保田常務理事

展して行こうとあいさつをした。次いで出席の数多くの関連業界を代表して杉山民治(大和屋洋紙店社長)のあいさつが行なわれた。杉山社長は、このあいさつの中で、今一番印刷業界で問題となっている諸材料の値上り問題にふれ、関連業者としてもただコストが上ったら価格を上げてくれということでは、能がないので、印刷業者の皆さんが何とか印刷料金を上げていただけるようなお手伝いをやっていきたいと考えている。印刷の組合と私ども関連業界の組合が、ざっくばらんに話合ってお得意さんから印刷料金を上げてもらうようにしたいと考えていると述べた。引続いて出席の来賓、関連業界の紹介に入り、松本一磨(東印工組副理事長)、石澤幸東(東印工組副理事長)、久保田幸一郎(東印工組常務理事)、伊坂一夫(東印工



新年会の司会は浅野監査

組顧問、中村謹吾(京橋支部顧問)、白橋龍夫(中央区工団連会長)、牧野佐武(明東京都製本工業組合京橋支部長)、清水栄之助(中央区厚生事業協同組合理事長)、大谷健美(文化信用組合京橋支店長)ほか出席の関連業の各社が一社づつ司会者から紹介があった。久保田幸一郎(東印工組常務理事)の音頭で乾杯、宴会に移り、空くじなしのお楽しみ印刷くじやくし芸が次々と披露されるなどにぎやかな演芸と歓談が九時近くまでくりひろげられた。なお翌日は午前八時三〇分朝食後解散した。



京橋支部の新年会を祝って宴会場一巡の獅々舞

続・印刷屋さん和紙屋

大和屋洋紙店社長 杉山民治

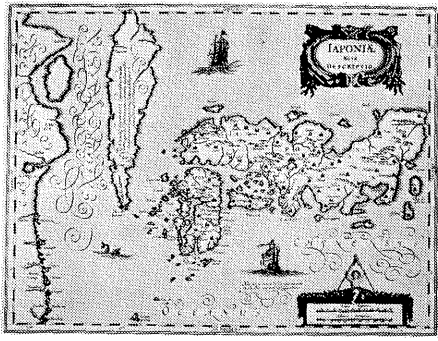
最近、印刷屋さんとの会合に出席させて頂いて感じることは、偉大だった創業者または先代から次代の二世、三世へと代替りされた方が大変に多いことです。勿論、我々紙屋も同様で、只今では代替りがほぼ一巡したところです。

その時に当り、前にも「京橋の印刷」に書きましたが、どうも若い者同志の裸のおつきあい、先代の時ほどにはないように思われて仕方がありません。これは、紙屋の努力が足りないせいでしょうか、矢張り、時代のせいとお互いに余りに忙し過ぎるの、最大の原因のように思われます。

お互いに京橋地域に店を持ち、代々のおつきあいでもありますので、自らの殻に閉じこもることなく、胸襟を開いて、一時の損得にこだわらず、末長い信頼に基づくおつきあいをさせて



頂き、お互いに繁栄したいと念願しております。



メルカトル「日本地図」(1609年アムステルダム刊)

オランダの著名な地理学者 ジェラルド・メルカトル (1512~94)作『世界地図帖』の中の単独日本地図。外国製地図中、単独日本地図としては、オルテリウス・テイセラ(1527~98)作「日本地図」(1595年刊)に次いで2番目に古い。図形はどうやら日本と分る程度で、奥羽の半島や北海道はなく、佐渡島が最北にあり、九州をブンゴと総称しているが、カンガシユマ(鹿児島)、フィランド(平戸)などの地名があり、本州でもミヤコ(京都)、サカイ(堺)などの名をしるし、城下町をゴシック式塔で示している。朝鮮が単独の大きな島に描かれているのもおもしろい。地図の大きさは51×54cm。銅版単彩。

印刷文化の流れに沿って

水野コレクション・シリーズ (7)



(株) 水野写真工芸印刷所

社長 水野 雅生

前回はヨーロッパにおける印刷の伝播と印刷術が宗教改革に果たした役割などをお話しましたが、その後印刷術は一五三九年大西洋の荒波をこえて、中米メキシコにアメリカ大陸最初の印刷所が開設されました。それはコロンブスがアメリカ大陸を発見してからわずか四十年

しか経っていません。そして北アメリカにおける最初の印刷所はピューリタン達によってなされたものです。十八世紀に入るとアメリカは、この国でもっとも人気のある人物の一人である書籍印刷人「ベンジャミン・フランクリン」をうみだしました。

彼は石けん製造見

習工から身をおこ

し、科学者、哲学者、

そしてまた指導的な

政治家になりました

た。多面にわたる活

動の傍ら、書籍印刷

にはつねに深い愛情

を注いで、一七三〇

年にフィラデルフィ

アでアメリカでは初

めてのローマン活字

の本「神の愛と讚美

の調」を印刷しまし

た。これは彼がロン

ドンに外交官として

滞在していた時に知

り合ったウィリアム

・キャスロンの影響

によるものと思われ

ます。

宗教は人類に大き

な影響を与えてきた

が、また宗教を

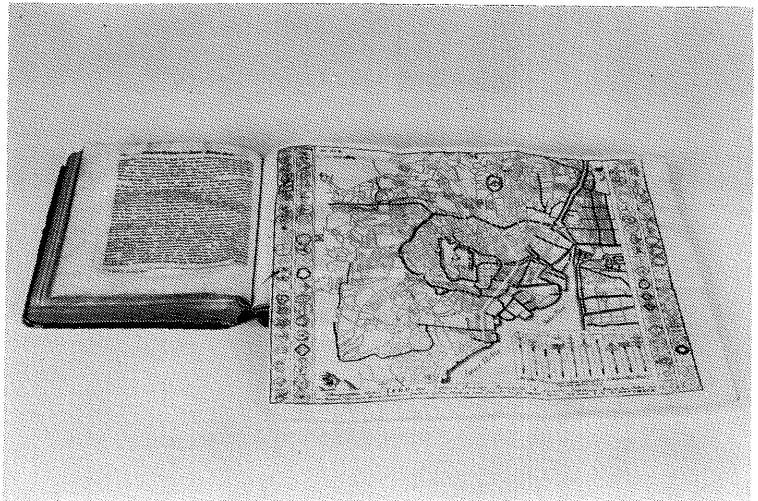
伝える上で印刷の

発明は大きく貢献

しています。そして

印刷術も工夫をこ

らさ



ケンベルの日本史誌、本文活版、図は銅版(1777年ドイツ刊) ドイツ人ケンベルは1690年~92年迄滞日し、この間オランダの商館長ブリテンハイムに随行して長崎より江戸に参府した、本書はその時の江戸参府紀行である。

活字書体においても十五世紀末のフランスのニコラス・ジョンソンのローマン体以来、ウィリアム・キャスロン、ジョン・パスカービル、キャンパディスタ・ボドニ、ディドー一家等のすぐれた印刷家が行われ、それぞれの書体を研究開発しています。

グーテンベルクは凸版印刷を発明しましたが、十五世期末には早くも凹版印刷が出現します。中世には甲冑に美しい模

刷、コロタイプ、グラビア、写真平版と

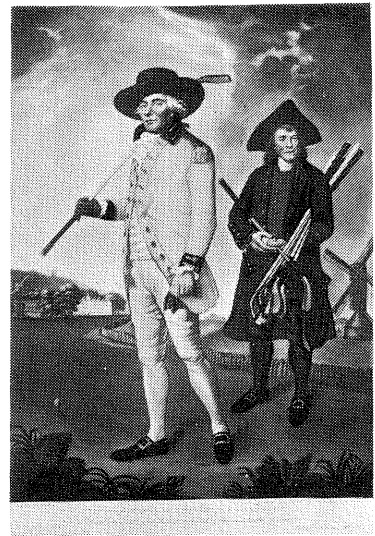
発明され現在に至っております。



A・デューラー 銅版画 1505年

様を彫刻しましたが、これにヒントを得たのが銅版画で、おもに図書の挿絵に使われました。「デューラー」などもこの方法を使い銅版画をたくさん出してあります。この方法は図柄を銅版に彫刻刀とかビュランで彫り込み、彫り込んだときにできたささくれをきれいにとり、インクをつめてこれを拭きとると、インクは彫刻した線の中にだけ残り、そこでその版の上に紙をのせ強い圧力を加えると、紙の溝の中に押し込まれてインクを吸い、画線は紙に転写されるのであります。十六世紀の中頃になると、この方法の直刻凹版が図書によく使われるようになり、中でもとくに高級な地勢図や地図などの複製によく使われていました。オランダの著名な地理学者「ジェラルド・メルカトル」(一五一二—一五九四年)も銅版を使い「世界地図帳」を作成しております。

これらの凹版印刷工法には直刻凹版、



メゾチント法印刷 18世紀初期 「ゴルファー肖像画」

ドライポイント、エッチング、点刻、メゾチント、アクアチント、グラビアがあります。

十七世紀末になると、彫刻師たちは連続調を再現するために、銅版や点刻よりもさらに進んだ方法を編みだしました。これがメゾチントであります。メゾチントはオランダ人「ルートヴィヒ・フォン・ジーン」によって発明されたといわれます。このメゾチント法が発明されてからは、銅版はやがて使われなくなっていくます。それは色調再生能力に欠けており、メゾチントは純粋な色調を再生するのに効果的で、地勢図に描かれていた空とか水のかげや、肖像画の甲冑、毛髪、ベルベツ

トそしてサテンの光沢を再現できる方法はメゾチントをおいてほかにないからであります。メゾチントは油絵の複製に欠くことのできない存在になりましたが、その後さらに進んだ方法としてアクアチントが出現し、絵入

りの旅行記をはじめとしてあらゆる種類の挿絵入り本に事実ひろくもはやされました。しかし十九世紀初期に石版印刷の到来とともに、メゾチントもアクアチントもその偉大な時代は終りをとげ、石版印刷に席を譲ることになります。

石版印刷 (リトグラフィ)

十九世紀の書物に大きな影響を与えた発明の一つは、一七九八年に「アロイス・ゼネフェルダ」によって発明された石版印刷であります。主要な製版法のうち発明者の名前と発明日が確実に判っている製版法は石版印刷法だけです。ここで今までに述べた色々の印刷法をみると、木版は書籍印刷と同じく凸版印刷で、すなわち、印刷が出ばった部分によってなされるものです。また銅版やメゾチントは凹んだ部分のインクが紙に移されて印刷されるものです。

「ゼネフェルダ」の発明した技法がこれらの技法と異なるところは、版面を出ばらせたり、彫り込んだりする必要がないことで、平版印刷です。この方法は水をはじく油の性質に基づいています。石版印刷では絵や文字を油性の鉛筆とか油性のインクペンで研摩した石版石に書き写し、次いで版面を水で濡らすと、水は画線の油には水はしみこまないで、印刷インクをローラで塗ると、湿っている部分にはインクはつかず、図柄の描かれている油状の部分だけに付着することになり、そこで石版石上に紙を置き上から押しつければ、紙面に図柄だけが写しとれるのです。



ゼネフェルダの肖像

連帯と 京青会の一泊研修

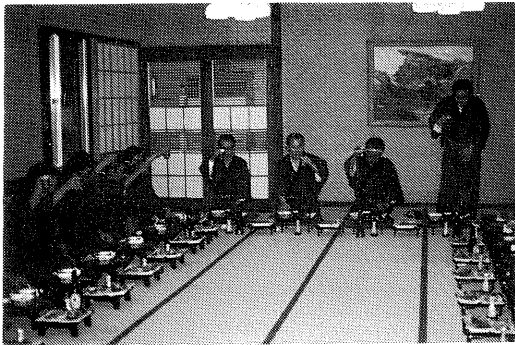
一月一九〜二〇日 於・湯河原

露天風呂にっかりながら一杯……。これが京橋支部印刷人青年会の第四回の行事で、会員の親睦と交流を目的として、新年会を兼ね、一月一九日〜二〇日湯河原温泉「阿しか里」に、総勢二六名の参加で、京青会発足以来初めての「一泊研修」をおこなった。

来賓には京橋支部長の代理石曾根副支部長、文化産業信用組合藤木次長のお二人と、日頃から何かとお世話を頂いている支部事務局の岩本書記に参加をお願いした。当日は現地集合でありましたが、定刻の午後七時には参加予定全員が集まり新年宴会が始められた。司会は当番の松岡・羽生の両幹事。はじめに尾島京青会会長が挨拶にたち「本日は難しい話には抜きにして、多めに飲み、語ろうではないですか」と今回の研修の目的である親睦と交流の楽しい雰囲気づくりに努められる。続いて来賓の石曾根副支部長も、尾島会長さんより難しい話は抜きにしてとのご挨拶にならひまして今宵は皆さんと一緒に飲ませて頂きます。私は京青会の発会式以来、京青会の行事には殆んど参加させて頂いておりますのでお顔馴染みになりましたので、皆さんをお願いいたします。現在東工組では第二次構造

改善事業に取り組むために参加調査表の回収をしておりますが、会員の皆さんには企業の第一線でお活躍をなさって居られる方々でありますので、皆さんのお力では是非とも京橋支部は組合員全員参加で回収にご協力ください」と述べられ、そのあと文信の藤木次長の首頭で乾杯がおこなわれた。

宴会のはじめに司会から「昨年来の京青会行事は第一回紙業・金融機関との研究会、第二回税務研修会、第三回ちば印



京青会の前途と会員の健康を祝して新年会の乾杯

刷団地見学会・忘年会と行事が重なることに会員相互の交流が深まるにつれて、お顔とお名前が一致するようになって、改めて自己紹介をお願いします」に若ものらしいユーモアを交えウィットに富んだ自己紹介が次々になされ、更に幹事肝いりの福引は、景品がそれぞれに渡される度に披露され大爆笑。はぎれのよい幹事のスケジュール運びは流石、間髪を入れずに「きれいどころ？」が繰り込むという手際よさ、宴も最高潮に達し若さあふれる歌や踊りがとびだす賑わい。庄巻は何んといつても八丁堀地区の人気者の「どじょう掬い」で、文字通り京青会の会員は露天風呂に入り裸の付き合、時の過ぎるのも忘れてしまった。榎本副会長の大締め音頭に一同手拍子でお開き。

一夜あけ、流石に若さだ昨夜あれだけの酒量は何処へと思えるようなバイタリテイあふれる顔々……。「八〇年代の始まり今年はやるぞ！」の意気がみなぎる朝食会のあと解散、日曜の朝すがすがしく帰路につく。

楽しい一泊研修が、八〇年代にむかって京青会の結束を深めた。京青会が今まで成長することができたのは、支部長はじめ小山、長島両副支部長のご指導とご支援によるものと感謝し、厚く御礼申し上げます。尚、今回の一泊研修を企画、担当された松岡、羽生両幹事ご苦労様でした。

(H・I)

泰平紙業株式会社

東京都文京区後楽 2-1-8
(後楽ビル内)
電話東京(815)1651(代)

日本を代表するインキ

TOYO KING
ULTRA70



東洋インキ

「提 言」

專業化した中小印刷業は
營業士の資格がとれない

第二次構造改善事業が始まろうとしている、組合主導型のソフト指向、或るいは、サービス指向といわれて、その事業内容は大変なことと思う、組合員を指導される方々のご苦勞が窺える。しかし、その教育事業のなかの營業士教育について提言を致します。

この營業士教育は既に、ポスト構改の安定成長計画事業において実施されており、印刷業界の資質の向上、レベル・アップとイメージ・アップに欠かせぬ重要な課題であることはいうまでもありません。そして全国的には相当な成果があがっているが、東京においては低調のとことである。この点について論議はあろうかと思われるが、結論を申し上げると、東京および大都市における印刷業は專業化している。この際第二構改のはじまりに、技能検定と同じく版式別にまで分ける必要はないが、真物印刷營業士、商業印刷營業士、事務用品印刷營業士ならびに総合營業士のようにして、大都市において專業化してしまい、総合的な印刷知識に欠けているからこそ、その教育の必要性を説かれるのは理解はできるのであるが、段階的に、その環境にない專業化

している中小印刷業の營業担当者に道を拓いてほしいものである。(匿名)

役に立つ情報が欲しい

日頃、仕事に忙しく、たまに「京橋の印刷」が届けられてもゆっくり読めないこともあります。そのような毎日を過している私のところに「東印工組加入のしおり」が届きました。たまたま、休日だったのでゆっくりと読ませて貰いました。これは、新しい組合員をお誘いする文書であります。私が驚いたことは、

こんなに多くの事業を行っている

という事実です。どれも、これもよく考えて見れば支部から配布されたパンフレットなどに説明されたものばかりで、知らなかったということは、私自身の組合に対する関心の薄さということにもなり、まことにお恥かしいことなものです。多くの組合員の皆さまも、日頃の忙しさにまかせて、私と同様の方も多いのではないのでしょうか。

それで私からの提案ですが、「役に立つ記事(仮名)」というのを毎号一頁ぐらい出してほしいと思います。さし当って

- (1) 共助制度
- (2) 全国生命共済制度
- (3) 火災共済制度
- (4) 自動車共済制度
- (5) 自転車事故共済制度
- (6) 倒産防止共済制度

(7) 経営者退職金共済制度

(8) ほのぼのプレゼントの説明

(9) 各種物資の斡旋について

(10) 機関誌からの抜粋

日本印刷技術協会や研究機関から発行される月刊誌などの中から有益なものを紹介、印刷業界新聞・雑誌の中から役に立つ記事の紹介(何号の何頁にこんな記事がありますといった程度でも良い)。

(11) 講習会や研修会などの予定や、そのような会の講義内容など……

また、「公害防止なんとか資格」などといっても、私共ぐらいの規模の工場には必要なのかどうかよくわからなかつたりします。そのあたりの簡単な紹介。

(12) 商工組合中央金庫とか、国民金融公庫や中小企業金融公庫から融資をうけ

たいときの方法

(13) 法律相談や経営相談 などなど

このような記事を毎号一頁ぐらいにまとめて掲載して頂けると、今月号は「何が出ているだろう」と期待して見るようにもなり、また、バックナンバーなどにも大切にファイルしておき、必要などきいつでも検索利用できると思うのです。

本部からパンフレットなどが送られて来ますから、一見無駄なようにも思われますが、また執行部の方々にも、ご迷惑をおかけしますが、「或る提案」としてお読みすて頂ければ幸いです。(匿名)

対話へのかけ橋

1枚の封筒にも
大きな使命が
かせられています。



山口封筒

本社 〒104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(551)1151代
工場 〒132 東京都江戸川区西端江4-21 電話(652)7721代



何処かで見た写真。昨年と同じ湊地区の合唱

地区だより

▼湊地区 一月二六日、熱海は梅もちらほらと綻び始めて、まことに暖かい好天気に恵まれ、静観荘のロビーは宛ら春の到来を想わせた。

京橋支部新年臨時総会への当湊地区参加者は一三社で、荒川地区相談役を筆頭に八〇二号室に定刻一時間前には続々と参集した。小山副支部長の開会のことばによって総会は予定通り進められ、昨年のように時間超過もなく、長島副支部長の閉会のことばとなった。

さて新年宴会開始迄にそれぞれ大浴場を汗を流し、湊地区員は一同打ち揃って会場に入る。席順は籤によって決められ

当地区は一番を引き当て、昨年と同じ場所に陣取ることになった。記念撮影の後浅野監査の司会により、地区対抗?のど自慢大会が行なわれ、蓬萊屋印刷森山社長を皮切りに、当地区から、中山印刷中山社長、協和美術印刷浅野社長が続々と出演して喝采を浴びた。

また宴酣となり、当地区恒例?の地区全員による詩吟入り武田節が披露され、面目を施こした。(湊地区長・田島)

告知板

— 全印健保加入申込

希望について—

▼本部組織委員会では、従来から全印健保へ東印工組組合員の全印健保加入の受理を強く申し入れてきましたが、ここ二年間全印健保も黒字へ転換した事等を契機に、東印工組として、加入希望者があれば、組合間で接渉して、加入を承認させるべく、組織委員会がその任に当りますので、加入申込書に、社名、代表者名、事業所人員数、平均報酬月額を記入して捺印の上、東印工組へ持参下さい。

— 厚生年金基金に

ご加入のおすすめ—

▼厚生年金は働く人々の老後の生活の安

定と福祉の向上を目的とした国の制度です。創設以来たびたび給付改善がなされ一〇万円年金時代を迎えました、しかし老後の生活保障は充分とはいえません。

そこで厚生年金基金が誕生し、厚生年金の一部を基金という特別法人をつくって代行し、更に年金額を上積みして給付をおこない、自主的な運営がなされます。

東京印刷工業厚生年金基金は、昭和四三年に設立され、加入事業所約一、一〇〇社、加入人員約二九、〇〇〇人の規模です。この基金のしくみやメリットについては次号より解説を掲載いたします。未加入の支部組合員の参加をお願いします。

— 住所変更—

▼新富地区組合員、日本精版印刷は、この程、第一工場を改装して、ここに、本社事務所を移転した。新住所は、中央区新富一―七―一四、なお電話番号は、従来どおりです。

— 第二構改調査表の

提出について—

▼皆様の御協力によりまして、第二構改参加調査表は大体八〇%位の回収が出来ました。まだ未提出の事業所は早急に京橋支部または、本部宛送付下さいませう重ねてお願い致します。なお、組合事業として、今後推進していく事が決っておりますので、出来るだけ参加の欄に〇印をつけて下さるようお願い致します。

洋紙・板紙

北越ファイバー・パスコ

株式会社

共和洋紙店

東京都中央区京橋1-4-3

TEL (273) 5771 (代)

東洋インキ製造 } 特約店 大日本インキ化学工業 }

平版印刷用諸材料一式販売

(有) 湯川商店

東京都江東区扇橋1-5-2

電話東京 03 (644) 8518

(647) 7581

〈随筆〉

北 国 の 餅 料 理

京 橋 地 区 小 岩 陸 奥 雄

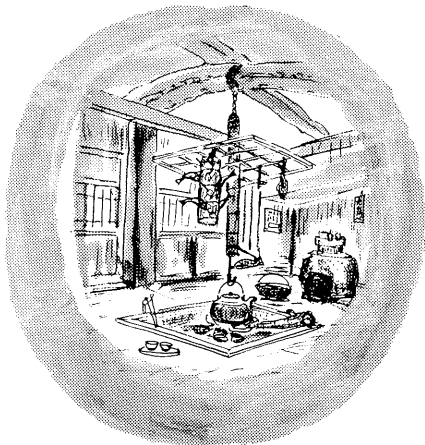
岩手県南部では餅の味付け法に、数種あり、正式の会食では、それらの種類について食べるコースがきまっている。昨年平泉の中尊寺に遊んだ折、境内の食堂で数種に味付けした餅を、秀衡塗の器に盛って出され、なつかしい思いをした。

餅のコースは、餡こ餅に始まり、納豆餅、辛味餅、燻すべ餅などと進み、終に雑煮餅を食べる、同種の餅はおかわりできるが途中迄食べ進んでから、既に食べ終った種類の餅をさかのぼっておかわりすることは、すこぶるエチケット違反となる。普通一碗に二箇位の餅が入るから、フルコースになると、少なくとも十箇以上を食べることになる。

昔の若い者は一升餅を食べる位の元気がなければいけないといわれた。一升の米を蒸かして作った餅の量は相当なものである。

餅の味は、甘味よりも辛味の方が美味しく食べられるようで、特に燻すべ餅というのは絶品である。今では農村も都会も建物の構造は同じになってしまったが、藁ぶき屋根で、団炉裏のあった頃、

団炉裏の上には、格子に組んだ、乾燥用の木枠があり、その木枠から、弁慶という民具がぶら下っていたものである。弁慶は、藁を直径一五種ぐらいに束ねて、周囲を篠竹で竹ざるのように編んで作っ



たもので、竹ざるの亀甲模様のすき間に、竹串を数十本挿しておく。その形が、九九本の刀を盗って背負った弁慶の姿に似ているところから「弁慶」と名付けられた。農作業の合間に獲った雑魚やどじょう、などを炉端で焼くときこの弁慶の竹

串を用い食べ残ったものは、長期保存食品として弁慶に挿しておく。炉の火の真上であるから、充分乾燥される。当時は大切な蛋白源であったろう。団炉裏から出る煤で燻ぶされ、一ヶ月も経つと、弁慶のどじょうは真黒になり、一種の燻製品になる。この乾燥どじょうを、擦り鉢で丁寧に擦ってから、午朧をおろし金で擦りおろしたものと混ぜて醤油などの調味料で味付けしたタレに搗きたての餅をまぶして食べるのである。生活の智慧とでもいえようか。どじょうと午朧といえど、どじょう料理の逸品柳川にも用いられるように相性の良い食品であり、

これが、雪国の農民の間でも美味しい物として工夫されたあたり、非常に興味深い。

簡単な餅のたべ方として、大根おろしに餅を入れて、上から鯉節のけずりたてをかけて試みるのも中々おつである。

この地方の雑煮は人蔘と大根を千切りにしただけの汁であって、大椀に山盛りに盛り上げて賞味する。これがフルコースのフィナーレであり、餅を食べあきた客は、「汁ばりけらしえよ」——つゆだけにしてお下さい——とオーダーすることが出来るが、前述の山盛り大根、人蔘汁の下には意地悪く、一番大きな餅がかくれているのが常である。



業界の
トップレベルを行く

宏和樹脂工業株式会社

東京都板橋区蓮沼町51-2
TEL 965-2711 代表

プロセス資材株式会社

本社 東京都中央区銀座7丁目10番5号 千104
TEL 03-572-8071(代)
大阪/名古屋/札幌/仙台/京都/広島/福岡

支部の動き

1月5日 支部事務局仕事始め。

1月8日 印刷工業会、東京都印刷工業組合共催の新年交歓会が帝国ホテル富士の間で開催され、小宮山支部長他多数の組合員が出席。

1月9日 中央区工団連常任理事会、中央区役所七階会議室に於て開催され中央区工業展開催について討議。小宮山支部長ほか支部常任理事が出席。

1月11日 京橋電気安全協会新年会、於いて、築地スエヒロ、小宮山支部長出席。

1月17日 中央区工団連新年会、於て、築地スエヒロ、支部理事多数出席。

1月19日 中央厚生事業協組(絵食センター)新年会、於て、躍金楼、小宮山支部長出席。

同日 京橋支部印刷人青年会新年初会合を開催、於て、湯河原「阿しか里」石曾根副支部長代理出席、青年会員と交歓。

1月23日 部長会、地区長会、於て、支部会議室、第二構改参加調査表の回収および支部新年臨時總會諸準備などを討議。

1月26日 支部新年臨時總會、於て、熱海静観荘、次期役員選挙委員を選出。つづいて新年会が催され組合員、関

連業の方々などが出席、盛会裡に懇親。

組合員の異動

加入組合員 八丁堀地区、憐いろは巧芸社、社長 長沢邦行氏。八丁堀3-10-8、電話552-7241。

脱退組合員 銀座地区、憐特急社、社長 河村 博氏、銀座1-24-2。

弔 事

八丁堀地区 憐丸の内印刷所社長 前島次雄殿には一月二三日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

「京橋の印刷」

四月号原稿募集

組合員の皆さんの機関誌として、皆さんに親しまれ、皆さんの手で育てていく為に家族や従業員からも原稿を募集します。奮ってご応募ください。

内容 論説、技能、技術、体験、創意工夫、営業などの情報交換、文芸作品、地区だより、組合員の声、写真など。

締切 三月二〇日

宛先 東京都中央区新富一-一六-八(日本印刷会館三階)

注意 「京橋の印刷」と朱書してください。

「京橋の印刷」 広告募集

当京橋支部では、業界の推移、技術や営業の情報交換など組合員の結束を計るために、支部報「京橋の印刷」を刊行しています。就きましては時節柄誠に恐縮ですが、協賛広告にご応募くださいますようお願い致します。

協賛広告掲載料金

一段	天地	五〇耗	半年(六回)	金六万円也
	左右	一四五耗	一ケ年(十二回)	金十万円也
半段	天地	五〇耗	半年(六回)	金三万円也
	左右	七〇耗	一ケ年(十二回)	金五万円也

図案・版下は実費頂戴いたします。

東京都印刷工業組合京橋支部

編集後記

▼一月二六日、相模湾に浮かぶ初島も霞む程の日和に恵まれた熱海で支部臨時總會が無事に終了し、次期役員選挙委員の方々が選任された。本号はその總會を特集した。五三年四月支部執行部に就任以来任期もあと二カ月で次期執行部にバトタッチができる。その間、実に永く待ち遠しかった。常に「京橋の印刷」の原稿と編集に追い廻され、毎号本誌が出るまでは胃の痛む思いで過した。

▼二月に入って役員選挙委員会が開かれそして各地区からの役員推せんもおこなわれている、不透明と言われる厳しい八〇年代始めに、組合主導型の第二次構造改善事業の重任を背負う次期執行部の方々に胃の痛くなるような思いまで引き継ぐ訳にはいかない、お役ご免になっても本誌の通信員は勤めねば、相済まないといふから肝にめいじている。

▼本号に投稿された二つの提言は、短い文章で言い尽せないものもあるが建設的な意見は、編集担当者の励ましになる。昨年六月一八号より水野コレクションの掲載を頂いている水野社長には大変感謝しております。今後もしょしくお願いいたします。本誌では編集の都合で次号より昨年三月一五日まで七回にわたって執筆を願っていた伊坂顧問の「組合学校」が続けられますので乞うご期待。(H)